

吹田市健康づくり推進懇談会（第4回）等での主な意見

1 吹田市健康づくり推進庁内検討会議での主な意見

- （1）市民意見の聴取について、計画策定に反映する旨の記載があるが、すべての意見を反映する訳ではないので、たとえば「参考にする」等の書き方に変更したほうがいいのではないか。
- （2）目標値設定における基本的な考え方について、可能な限り定量的な数値目標を設定するとあるが、それが困難な場合の設定方法についても記載した方がいいのではないか。
- （3）来年度当初に予定している組織改正を見据え、事業の所管部署は新組織で記載すべきではないか。

2 吹田市健康づくり推進懇談会での主な意見

- （1）第6章の北大阪健康医療都市での取組については、推進するに当たって、地域に対して十分な説明等をしてほしい。
- （2）46ページの「受診したがん検診の種類」のグラフについては、がん検診の受診率を今後さらに上げたいということであれば、現状がよく分かるように、グラフの最大値を40%から100%にした方がいいのではないか。
- （3）評価指標の目標値について
 - ア 自殺者数の目標値を数値としてあえて挙げる必要がるのかどうか。「減少」としてもいいのではなか。
 - イ 現行の減少率や増加率を目標値としている項目があるが、現行以上や以下を目標値とするべきではないか。
 - ウ 目標値は小数点以下での設定となっているが、整数にしてもいいのではないか。
 - エ 定期的に運動している人の割合については、「定期的」の具体的な指標が必要ではないか。
 - オ 運動に関する指標については、スポーツ基本法に基づくスポーツ推進計画を吹田市で策定する場合に、整合性を図る必要があるのではないか。
 - カ 中学校の運動クラブ参加者の割合について、放課後、ノンフォーマルな活動をしている子どももいるため、必ずしも中学校でクラブに参加しなくてもいいのではないか。
 - キ ふれあい昼食会の参加人数については、単に高齢者人口を参考にする目標値では達成が難しいのではないか。